



よ だ なお き  
余 田 尚 紀

生年月 1985年10月生まれ  
最終学歴 2010年立命館大学大学院  
理工学研究科創造理工学  
専攻修了  
業務経歴 2010年(株)大林組入社  
現在、大阪本店建築事業部  
建築設計部主任  
●担当した主なプロジェクト  
2015年 イワタニ水素ステーション  
関西国際空港  
2016年 イワタニ水素ステーション  
森之宮  
イワタニ水素ステーション  
住之江  
2017年 (株)ダイセル iCube  
イワタニ水素ステーション  
FCフォークリフト  
2019年 イワタニ水素ステーション  
伊丹空港  
2022年 大阪第6地方合同庁舎 竣  
工予定  
\*共同設計：(株)日本設計

●受賞歴  
(株)ダイセル iCube  
・第30回日経ニューオフィス賞/  
近畿ニューオフィス推進賞  
・第11回船路市都市景観賞/  
都市景観賞特別賞

■青年技術者のことば  
「対話」で創りこむ建築  
私は設計において、「対話」する  
ことを大切にしている。  
対話には大きく3つあると考えて  
いる。1つ目は人（建築主やプ  
ロジェクトに係る人々）との「対  
話」、2つ目はコンテキストとの  
「対話」、3つ目は素材（スケッ  
チ、図面、マテリアル、ディテ  
ールなど）との「対話」である。  
人との「対話」では、プロジェ  
クトに関わる人の「想い」を汲み  
取り、本質を見出し、共有を図  
る。コンテキストとの「対話」で  
は、「歴史性」、「ポテンシャル」  
などを引き出し、人や社会との繋  
がりを探る。素材との「対話」で  
は、人やコンテキストなどとの  
「対話」により導きだしたコンセ  
プト・建築構成が内外空間の細  
部まで具現化できるようにマテ  
リアル・ディテールとの「対話」も  
重ねて、様々な角度から検討し、  
図面に織り込む。  
これらの「対話」を通して、重ね  
合わせて創りこむ建築は、そのプ  
ロジェクトでしか成しえない固有  
の建築になると考えている。  
プロジェクトに関わる人の想い、  
コンテキストなどを建築として代  
弁できる設計は、遣り甲斐を感じる  
反面、重責を担うが、「対話」で  
創りこむ建築は、その場所に根付  
き、人や社会と繋がる建築となり、  
輝きを放ち続けると信じている。

■すいせん者  
東井嘉信  
(株)大林組 大阪本店 建築事業部  
建築設計部 部長



外観



2階吹き抜け



コミュニケーションステップ



カフェテリア

イワタニ水素ステーション 関西国際空港



外観



ディスペンサー廻り



アプローチ部



イベントスペース

大阪第6地方合同庁舎



外観



エントランスホール



エコテラス